

令和6年度 第3回 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和7年2月21日(金) 午後2時00分から午後3時00分

場 所 市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、渡辺浩隆委員、石川由佳委員、齋藤潤委員、吉田鈴美委員、
山本幸子委員、山崎幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、會澤奈穂子委員、
森井真理委員、今井崇徳委員(鎌ケ谷市社会福祉課長)、
舟波早苗委員(鎌ケ谷市健康増進課主幹)

関係者 屋代利津子(習志野健康福祉センター地域福祉課広域専門指導員)、
橋本結希(障がい者の働くを支えるチーム)、
馬場武士(地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム)、
竹之内純一(障がい者のつながりを支えるチーム)、
竹内直人(障がい分野の情報を発信・啓発するチーム)、
佐野由佳(医療的ケア児支援チーム)

欠席者 菊地謙副会長、向井智之委員、野村正剛委員、渡邊輝江委員、山崎馨子委員、
瀧口博史委員、勝又和久委員

事務局 【障がい福祉課】遠藤善治課長、高橋奈帆子庶務係長、加藤圭一郎
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、恩田信幸、
岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 1名

添付資料

- ・式次第
- ・令和6年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・自立支援協議会の組織体制
- ・資料1 テーマ別チーム会議からの令和6年度活動報告
- ・資料2 障がい者を理由とする差別の解消の取り組みについて
- ・資料3 日中サービス支援型共同生活援助における協議会への報告フロー変更(案)
- ・障害のある人に対する理解を広げようパンフレット
- ・障害のある人への理解を広げよう！チラシ
- ・「障害者虐待防止法」をご存じですか？パンフレット
- ・マンガでわかる障害者差別解消法パンフレット
- ・障害者差別解消法が一部変わりました！チラシ
- ・障害者等用駐車区画利用証ができましたチラシ
- ・ほじょ犬チラシ
- ・ほじょ犬もっと知って医療機関向けBOOK
- ・ほじょ犬ステッカー

<本日の傍聴人および会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(13名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていることおよび傍聴者が1名であることを報告した。

<委嘱期間について>

障がい福祉課長より、本日の会議が鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）委員の任期内最後の会議であることを説明したお礼を申し上げた。

テーマ別チーム会議からの令和6年度活動報告

（1）障がい者の働くを支えるチーム

「企業向けアンケート」を350か所に配布したが、返信は2か所のみ、いずれも「興味なし」であった。この実態を踏まえ、企業には地域の障がい者に目を向けてもらうことから始めることとした。まずは、障がい者ご本人の意向を知るため就労移行支援事業所、就労支援事業所A型・B型に通所している方に「就労系アンケート」を実施した。結果の分析は3月のチーム会議で行い来年度に引き継ぐ予定。

（2）地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

一昨年度にまとめた「提言書」を基に、昨年度は実施したアンケート結果や課題をまとめた「報告書」を協議会の本会議に提出した。今年度は、移動支援の担い手が少なく増やしていく必要があるという課題に焦点をあて、研修会（この研修を受ければ移動支援ができるというもの）を習志野市の「一般社団法人たからばこ」に依頼し、～ガイドヘルパーから始めよう in 鎌ケ谷～を2月9日より実施中。とても好評で28名が受講中である。

（3）障がい者のつながりを支えるチーム

昨年度に完成させた「困った！どうする!?支援者向けシート」、裏面「つながりを支えるポイント」があまり活用されていないことが分かり、実際にシートを活用した事例を用いて事例検討を行いながら有効活用法を考えていった。これは支援者向けシートなので、支援者が手元に置いて有効活用できる様に周知の仕方や配布方法について来年度も引き続き検討していく。内容の改訂についても考えていく。

（4）障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

鎌ケ谷市内の障がい児者と事業所のマッチング機会として「鎌ケ谷市障がい福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～」を令和7年1月26日（日）に開催した。来場者101名、26事業所1当事者団体が参加した。アンケートの回収45名、回答内容の分析はこれから行う。来年度は10月25日（土）に開催予定で、アンケートの分析や反省点等を話し合い有意義なものにするよう検討していく。

（5）精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

「つながるシート」（つながっている・つながっていない・退院して地域への3種類）、「状況チェックシート」、「情報提供書」を実際に活用してもらうよう周知に重点をおいた。地域包括支援センターにはセンター長会議で説明した。計画相談には相談支援事業所連絡会で説明し実際にシートを活用した事例についてフィードバックを受けた。居宅介護支援事業所には来年度のケアマネ協議会で説明し、就労系事業所、医療機関へも事例検討を行いながら周知していく。訪問看護ステーションには個別に周知を図る方向で検討している。

（6）医療的ケア児支援チーム

昨年度は、医療的ケア児の災害対策について「提言書」を提出した。令和6年4月より蓄電池の購入に対する補助金が出るようになったが、その情報を知らない方が多いため周知方法を検討した。特別支援学校等に配布するチラシの作成を来年度も引き続き行う。医療的ケア児等コーディネーターの配置については、「千葉県医療的ケア児等支援センター ぽらりす」による研修会を実施し、実態把握のための調

査を行った。来年度はこの実態調査の回答を分析し進め方を検討していく。

会長

ここまでの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

会長

来年度も引き続きこの6つのテーマについて各テーマ別チームにて検討している内容・課題に継続して取り組むことでよろしいか。

→異議なし

障がいを理由とする差別解消の取組と相談事例について

事務局より、この協議会は所掌事務に「障害者差別解消支援地域協議会」の機能を兼ねる形としており、具体的には①相談事例等に係る情報共有②差別解消への取組み・啓発の方向性について委員の皆様から意見をいただくことの2点である旨を報告した。続いて差別解消法の改正点を説明し、資料2「鎌ケ谷市 障がいを理由とする差別の解消の取組みについて」を基に鎌ケ谷市の取組みを説明した。

広域専門指導員

資料2「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を基に令和5年度習志野圏域相談活動について報告した。鎌ケ谷市で障害者手帳を持っている方の割合は19人に1人であった。障害のある人に対する理解を広げようパンフレットほか各種チラシを基に、少しでも差別がなくなるよう周知啓発の協力をお願いした。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

その他

事務局より資料3「日中サービス支援型共同生活援助における協議会への報告フロー変更(案)」を基に、相談支援事業所連絡会において意見を聴取しその後に協議会の評価を行うという流れに変更する提案をした。

会長

日中サービス支援型グループホームの評価について、フロー変更承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

会長

他になれば以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和7年3月7日

氏 名 森井 真理

氏 名 飯高 優子